

## 2 〈No (other) B ~+ 比較級+ than A〉

35 No (other) river in Japan is **longer than** the Shinano.

354

信濃川より長い川は日本には（他に）ない。

〈no (other) + 名詞の **単数形**〉を主語にして比較級を使い、「A より…な B はない」という意味を表す。

原理

厳密に言うと、34とは違って、35では信濃川と同じ長さの川が存在する可能性を否定していない。

英語の原理 (not) as + 原級 + as の表す範囲

〈原理〉から言えば 〈as + 原級 + as ~〉 「～と同じくらい…」は、実は 〈大なりイコール〉 という意味である。

California is about **as large as** Japan.

カリフォルニアは日本と大体同じくらいの大きさだ。



厳密に言えば、カリフォルニア  $424,000 \text{ km}^2$  は日本  $377,900 \text{ km}^2$  より

やや大きい（よって Japan is about as large as California. の順では表さない）。

この原理を理解することで、

〈not as + 原級 + as ~〉 が「～ほど…ない」という意味（小なり）を表すことも理解できる。

Asuka doesn't run **as fast as** Haruka (does). 明日香は遙ほど足が速くない。

つまりは、遙のほうが明日香よりも足が速い（≒ Haruka runs faster than Asuka.）ことがわかるだろう。



4 〈Nothing ~ as [so] + 原級+ as A〉; 〈Nothing ~ + 比較級+ than A〉;  
 〈A ~ + 比較級+ than anything else〉

37 Nothing is as [so] immoral as slavery. 奴隸制ほど非道徳なものはない。 356

38 Nothing is more immoral than slavery. 357

奴隸制より非道徳なものはない。

39 Slavery is more immoral than anything else. 358

奴隸制は他の何より非道徳だ。

原級や比較級を nothing (else) や anything (else) と組み合わせて、最上級の意味を表すことができる。上の3つの例文は、Slavery is the most immoral of all things. (奴隸制はすべてのものの中で最も非道徳だ) と実質的にはほぼ同じ意味を表す。

### 英語の原理



10

比較

No (other) B ~ as [so] + 原級+ as A / No (other) B ~ + 比較級+ than A

と Nothing ~ as [so] + 原級+ as A / Nothing ~ + 比較級+ than A の違い

どちらも実質的に最上級の意味を表すことができるが、使い分けが必要な場面もある。

(a) No other train is faster than this latest limited express.

この最新の特急よりも速い列車はない。

(b) Nothing (else) is faster than light. 光より速いものは（他に）ない。

**原理** nothing (else) や anything (else) と組み合わせて使う構文では、比べる対象は「この世界にある（他の）すべてのもの」ということである。よって、a) を Nothing (else) を主語にして書き換えることはできない。a) はあくまで「列車」というカテゴリーの中で一番だと言っているだけ。

〈as good as +形容詞〉は「ほとんど…と同じ」「…も同然だ」の意味で使われる。

You should be **as good as** new in a day or two.

1日か2日もすれば、君は生まれ変わったみたいに元気になるよ。

Just listen to my advice, or you will be **as good as** dead.

とにかく私の言うことを聞くか、さもないと君は死んだも同然になるよ。



368

### 6 〈as many (much) ...〉

49 He shot *three goals* in **as many** minutes.

彼は3分間に3つのゴールを決めた。

前にある数量表現を受けて、「それと同数〔同量〕の…」という意味を表す。

**類例** Steve has hit *three home runs*, and James has hit **as many** *base hits*.

スティーブはホームランを3本、ジェイムズはシングルヒットを3本かっ飛ばした。

We spent *ten thousand yen* on *food* and **as much** on *transportation*.

私たちは食費に1万円、そして交通費に同額を費やした。

10

比較

## 2 〈比較級+ and +比較級〉

51 Gas prices are getting **higher and higher**.

ガソリン価格が、どんどん高くなっている。

370

52 I became **more and more interested** in American history.

私はますますアメリカ史に興味を持つようになってきた。

371

〔× ... more interested and more interested ... としない〕



〈比較級+ and +比較級〉は、程度がだんだんと増してゆくことを表す。

1) 比較級が -er 型の場合は、形容詞や副詞を and で繰り返す。

2) more 型の場合は、〈**more and more +原級**

「ますます多くの…」という場合は、many [much] の比較級 more を用いて、〈**more and more +名詞**

**類例** The sound of footsteps is getting **closer and closer**.

足音がますます近づいてきている。

**More and more** students are using smartphones these days.

最近ではスマホを使う生徒がますます多くなってきている。

The economy is getting **worse and worse**.

景気はどんどん悪化してきている。

John is resembling his father **more and more**.

ジョンはますます父親に似てきている。

It is costing **more and more** money to attract good students.

優秀な学生を集めのには、お金がどんどんかさんでいる。

2つの関連する動作や状態について、一方が変化すると、もう一方も比例的に変化する場合に使い、「～すればするほど、ますます…」という意味を表す。

### 英語の原理 〈the + 比較級〉構文の the

ここで使われている the はいずれも副詞で、1つ目の the は「どれだけ…(to what extent)」を意味し、2つ目の the は「そのぶん (いっそう) (to that extent)」を表す。

**The higher** we climb,

↑ (どれだけ登るかといえば→これだけ登ったぶん)

**the cooler** it becomes.

(そのぶんだけいっそう涼しくなる)



〈the + 比較級〉の構文では語順が変わっているので、元の文の形を思い浮かべることが大事である。

**The higher** we climb. ←元の文: We climb high.  
**the cooler** it becomes. ←元の文: It becomes cool.

10

比較

**類例** **The lower** the price (becomes), **the higher** the demand (becomes).  
 価格が下がれば下がるほど、それだけ需要が高くなる。

※時間の経過に伴う変化を表す場合には、接続詞 as (～について) を使った文とほぼ同じ内容を表す。

55' ≒ **As** I became more successful, I had less free time.  
 成功すればするほど、自由な時間がますます失われていった。

ことわざや慣用表現の場合、〈主語+動詞〉が省略されることがある。

**The bigger, the better.** 大きければ大きいほどよい。

**The earlier, the better.** 早ければ早いほどよい。

【!】 〈形容詞+名詞〉はワンセットで！ 語順に注意！

名詞を修飾する形容詞の場合、形容詞と名詞が離れないよう注意する必要がある。

○ **The more books** you read, **the more knowledge** you gain.

× The more you read books, the more you gain knowledge.

これも、元の文を思い浮かべればわかりやすいはずである。

【!】 主語が前に出るパターンもある。この場合、語順変更はないことに注意。

**The more I know her, the more I love her.**

→ I love her **(the) more, the more** I know her.

知れば知るほど、どんどん彼女が好きになる。

**The more books** you read, ←元の文 : You read many books.

**the more knowledge** you gain. ←元の文 : You gain much knowledge.

### 発展 the + 比較級が 3 つあるときにはパターンは 2 つ

ここでは and の位置に注意しよう。

1) The + 比較級 + **and** the + 比較級 ..., the + 比較級 ~

「…すればするほど、そして…すればするほど、ますます～」

2) The + 比較級 ..., the + 比較級 + **and** the + 比較級 ~

「…すればするほど、ますます～、またそして～」



**The bigger the band and the louder the sound, the better the music.**

バンドは大きければ大きいほど、そして演奏はやかましければやかましいほど、音楽はますますよくなるよ。〔この例では名詞 (S) band, sound, music の後に、それぞれ is や will be などの be 動詞 (V) が省略されている〕

**The more things you are interested in, the more opportunities to be happy you have, and the less you are at the mercy of fate.**

興味を持つものが増えれば増えるほど、一層幸せになる機会が多くなるし、またそして運命にも左右されにくくなる。

類例 Humans are **superior to** other animals in their linguistic ability.

人間はその言語能力においてほかの動物より優れている。

My voice is **inferior to** Brian's in strength.

私の声は力強さにおいてブライアンの声に劣っている。

I need to talk to you **prior to** the meeting.

(かたく) 会議の前に君と話さなければならない。

Mr. Suzuki is two years **senior [junior]** to Ms. Osugi.

鈴木先生は大杉先生より2歳年上〔年下〕だ。〔ただし、Mr. Suzuki is two years older [younger] than Ms. Osugi. の方が普通〕

cf. Ken is my **senior [junior]** by two years. 健は私より2歳年上〔年下〕だ。

Mao is three years my **senior [junior]**. 真緒は私より3歳年上〔年下〕だ。

59のように、動詞 prefer も to を使う比較表現である。〈prefer A to B〉の型で「Bよりも A の方が好きだ」という意味を表す。

原理

prefer は「pre (前に) +fer (運ぶ)」からなり、prefer A to B は「B に対して A を (自分の) 前に運ぶ」から「B より A を好む」という意味になる。

I prefer math **to** history. 私は歴史より数学の方が好きだ。

≒ I like math better than history.

### 発信のヒント prefer の語法

prefer は prefer A to [over] B (B より A を好む) が有名な用法だが、prefer to do という形もある。では「～するよりは…したい」という内容を prefer で表したい時にどうすればよいだろうか？

「私はジョギングよりも水泳のほうが好きだ」

I prefer swimming **to** jogging.

「ジョギングすること」「泳ぐこと」をそれぞれ jogging / swimming と動名詞で表せば、prefer A to [over] B の型で言えるが、不定詞を使って to jog / to swim で表したい場合は、

I prefer **to swim rather than (to) jog.**

と rather than を使うとよい。(くだけて) では、この rather も時に省略されることがある。

I'd prefer you **to stay with me (rather) than** at a hotel.

君にはホテルにいてもらうより私のもとにいてもらいたい。



## 8 〈more or less〉

62 I could **more or less** understand what they were arguing about in the dressing room. 381

楽屋で彼らが口論していたことの内容は、 いくらか分かった。

 原理

定型表現 **more or less** には「多かれ少なかれ」「ある程度は」「ほとんど、 事実上」という意味を表し、 発言内容を和らげたり、 程度の差が重要でない時に使う。

類例 His white jacket **more or less** resembles a lab coat.

彼の白いジャケットはどこか白衣に似ていた。

Our school code has remained **more or less** unchanged for 30 years. 我が校の校則は 30 年間ほぼ変更がなかった。

James was **more or less** aware of the problem.

ジェイムズは実際のところその問題に気付いていた。

10

比較

## 10 〈know better than to do〉

64 I thought you knew better than to trust her.

383

きみは彼女のことを信用するほど愚かではないと、私は思っていたのだが。

## 原理

「…する以上の分別はある」という意味から「…するほど愚かではない」という意味を表す。賢明さや常識があることを表す表現。

類例 Ken, you **know better than** to speak like that.

健、そんな口の利き方をするものじゃなくってよ。

You should have **known better than** to drive at such a speed.

きみはそんなにスピードを出して運転をしないくらいの分別を持っているべきだった。

## 11 〈more +原級+ than +原級〉

65 That stupid horror film was **more silly than** scary.

384

あのくだらないホラー映画は、怖いというよりはばかげていた。

## 原理

同じ人や事物が持っている A と B という 2 つの性質を比較するときに、〈**more +原級 A + than +原級 B**〉を使う。ここでは、例えば A という尺度の中で、より A であるとかないとか言っているわけではない。よって、A に -er をつけたり more を前につけたりして比較級にしているということではないので、この構文では〈**more +原級**〉の形を使う。

65に即して具体的に説明すると、「その映画を他の映画と比べて、よりばかげている」と言っているのであれば、silly が比較級 sillier になるが、「その映画は scary であるというよりも silly である」のように、説明に使う表現の適切さに触れているので、silly は原形のままとなる。

類例 He is **more lucky than** able. 彼は有能であるというよりは運がいいのだ。

※名詞を比較する場合は、〈**more [less] (of) A than B**〉という形を使うこともある  
(→ p.272 not so much A as B)。

He is **more (of)** an actor **than** a musician.

彼はミュージシャンというよりはむしろ役者だ。

Losing money is **less (of)** a problem **than** losing time.

お金失うことは時間を失うことほどの問題ではない。

・ **no later than ...** (…までに)

We'll be at your house **no later than** 6:30 pm.

午後 6 時半までにはあなたの家に伺います。

・ **no longer than ...** (…の間だけ, …の期間だけ)

It takes **no longer than** 5 minutes to update this app.

このアプリのアップデートは 5 分もあれば済みます。

・ **no better than ...** (…も同然である, …と同じくらい悪い)

You are **no better than** a baby. あなたは赤ん坊も同然ね。



【!】 とはいえる、実際には、no more than / not more than はどちらも数量が少ないことを強調する表現なので「たった…」という意味で同じように用いられることが多い。同様に、no less than / not less than はどちらも数量が多いことを強調する表現なので「…ほど多くの」という意味で区別なく用いられることが多い。頻度は、それぞれ no more than / no less than の方が高い。

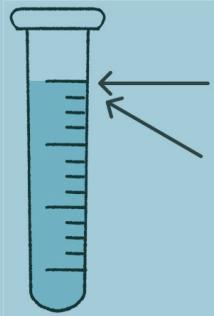
The distance between each pole should be **no [not] less than** 50 cm and **no [not] more than** 70 cm.

それぞれの柱の間隔は短くとも 50 センチ、長くとも 70 センチまでとする。

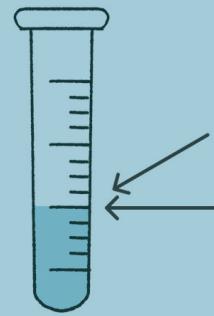
Students should choose **no more than** three of the following subjects.

生徒は以下の科目の中から 3 科目以下を選ぶこと。

no more than / not more than / no less than / not less than の比較



no less than  
「ちょうど…も」  
not less than  
「…を下回らない」  
=「少なくとも」



not more than  
「…を超えない」  
=「せいぜい」  
no more than  
「ちょうど…しか」

## 3 〈at best〉 〈at worst〉

75 My marks will be about average **at best** [worst].

394

私の点数は最高〔最悪〕でも平均点くらいだろう。

76 You could be fired **at worst**. 最悪の場合あなたは解雇されることもある。 395

〈at best〉は「どんなによくても（せいぜい）」という意味を表す。

〈at worst〉は「最悪の場合には」という意味（at the very worst）を表す場合と、「最悪の場合でも」という意味を表す場合とがある。どちらの意味になるかは文脈による。

**類例** Tony is an average singer **at best**.

トニーは好意的に見てもせいぜい平均程度の歌手だ。

The Bay Stars may be at the top of the league, or **at worst** second only to the Giants. ベイスターズはリーグの首位に立つか、最悪の場合でもジャイアンツに次いで2位になるだろう。

**At worst**, our annual sales may decline by 15%.

≒ The worst-case scenario is that our annual sales ...

最悪の場合、わが社の年間売上は15%減少するだろう。

類例 The sun's heat is **greatest** at the equator. 太陽の熱は赤道で最も厳しい。

I am **most grateful** for your kind assistance.

ご親切にもご助力いただき、何より感謝いたします。

● **more + 原級 (A) + than + 原級 (B)** (B というよりもむしろ A) (→ p.284 not so much A as B)

That movie was **more boring than mediocre**.

その映画は平凡というよりは退屈だった。

Masaharu is **more an actor than a musician**.

雅治はミュージシャンというよりは役者だ。



● **as + 原級 (A) + as + 原級 (B)** (B であるだけでなく A でもある)

Ken is **as kind as reliable**. 健は優しくて、その上頼りになる。

● **don't have [haven't] the slightest [faintest] idea (of) ...**  
(…なのか全くわからない)

I **don't have the slightest idea (of)** where we are going.

僕たちがどこに向かっているのか全く見当もつかない。

ここが Point! 最上級と定冠詞のルール



(1) 副詞の最上級は、(くだけて) では the は使われないことがある。

Akari runs (**the**) **fastest** in the club. あかりは部で一番足が速い。

(2) 他との比較ではなく、very のような感覚で(かたく) では most が使われるときがあるが、最上級ではないので the はつけない。

She is a **most beautiful** woman. (かたく) 彼女はとても美しい女性だ。

(3) 叙述用法の最上級では the が省略されることがある。特に一般論を述べる場合に the のない形が用いられることが多い。

If you have had an alcoholic drink, it is **best** not to drive.

アルコール飲料を飲んだら車の運転をしないのが最善です

(4) 同一の人や物の中での比較では the はつけない。後に the が修飾すべき特定の名詞があるわけではないから。〔ただし(米) ではこの場合でも the がつくこともある〕

Maria works **hardest** when she is doing something for her family.

マリアは家族のためになるときには一番懸命に働く。

## Grammar in Writing

## 犬が西向きや尾は東 並べて比べて印象付けて

何かを説明するときに、相手がすでに知っているものと比較するとわかりやすくなることがあります。たとえばアフリカ大陸の大きさをどのように説明するとよいでしょうか。

1) Africa is about 30 million km<sup>2</sup>.

アフリカは、約 3000 万平方キロメートルだ。

2) Africa is larger than the U.S., China, and India combined.

アフリカはアメリカ合衆国と中国とインドを合わせたのよりも大きい。

1) は明確な数値を示していて、客観的な説明という感じがします。地理の学習など、情報の正確さが大切な場面では、このような言い方が好まれるでしょう。

一方 2) のほうは、アフリカ大陸がどれほど大きいかというのを印象付ける言い方です。the U.S., China, India というと「大きな国」という印象が一般に共有されていると言えます。その 3 つを比較対象に持ち出すことでアフリカ大陸の大きさが直観的に分かりやすくなっています。そして正確な面積よりもとにかく伝えたいのは、「アフリカはとても大きいのだ」というメッセージだと感じられます。

たとえば「私の大切な家族」というテーマの英作文で、飼っている犬について書くとします。その犬の見た目や行動について説明するときに、単に white と言うよりも as white as snow (雪のように白い) と言う方が「白さ」が際立ちますし、walks very slow と言うよりも walks more slowly than a snail (歩くのがカタツムリより遅い) と多少大げさに言う方が「遅さ」がよく伝わります。このように、事物の説明は比較表現の活躍の場です。この考え方は自由英作文でも活かせそうですね。

比較は意見文でもよく使います。何かを主張する場合、それと対立するものと比べてメリット・デメリットを論じると相手も納得しやすいですね。たとえば遺伝子組み換え作物 (GM [genetically modified] crops) について論じる中で次のように言うことができます。

3) GM crops are more resistant to diseases than traditionally grown crops. This will ensure a more stable food supply and help reduce the population suffering from hunger. On the other hand, GM seeds are more expensive than non-GM seeds, and so they are not accessible to all farmers. This will put small-scale farmers into more difficult situations.

遺伝子組み換え作物は、従来の方法で栽培された作物よりも病気への耐性がある。

このおかげで食料供給が今よりも安定し、飢餓に苦しむ人を減らすのに役立つだろう。

一方で、遺伝子組み換え種子はそうでない種子よりも高価なので、すべての農家が利用できるわけではない。このことが零細農家を今よりもさらに厳しい状況へと陥れるだろう。



他の例も挙げておきます。

4) In friendship, disagreeing is sometimes as important as agreeing.

友人関係においては、相手に同意しないことが

同意することと同じくらい重要な場合がある。



5) PE as a school subject is no less important than history or math.

学校の教科としての体育は歴史や数学に負けず劣らず重要である。

6) I do not fear doing something wrong so much as doing nothing at all. 私は何かをやって失敗することよりもまったく何もしないことの方を恐れる。

このように対立する事物と比較すると自分の言いたいことを明確に伝えることができます。

---